

心の輪23R



『律子と敏子』という資料を通して、 「友情」について考えを深めました！



文部科学省資料
『私たちの道徳』P.61 より引用

私は、いつ、何が起こるのかわからないので、今いる友達との日々を大切に、たくさん思い出をつくらせて、笑顔がいっぱいの関係を築いていきたいと思いました。また、周りにいる人たちを大切にしていきたいです。

友達は失ってから本当の大切さを知ることができる。失ってからじゃ意味ないから、日頃から友達を大切に、後悔のない生き方をしたい。

私にとって友達は、気軽に相談できたり、助け合いができた人なんだと思う。今回の話を聞いて、私にとっての友達は、私のことをどう思っているのかなぁと思った。

私は、友達とは何かよく分からないけれど、相手のことを考えていこうと思いました。友達は、そんなに簡単に言えるものではないと思いました。

友達って、仲良くなったりしたら友達になるわけじゃなくて、そばにいてくれたり、励ましてくれたりするかけがえのない大切な存在なんだと改めて考えました。

この時間を通して、友達とは、話していたら楽しかったり、その人とお互いが良い気分になる関係と、お互いを信頼し合える関係だと思えます。

ちょっとしたことでケンカしたり、仲が悪くなったりするから、相手の気持ちをよく考えて判断したいです。

自分も、今、友達だと思っている人に自分から連絡をとったり、会いに行ったりしてないので、今日からは、できるだけ自分から連絡をするようにしたいと思いました。

友達同士だと思っていても、相手はそうは思っていなかったりすることがあると思った。友達は、いなくなってからその大切さに気付くものだから、普段から大事にしないといけないと思った。

『友達』とは、『どんなことも一緒に乗り越えられる仲間のこと』だと思いました。この授業で、改めて考えることができたと思います。

私にとっての友達は、一緒にいて楽しい人、気軽に話したり遊んだりできる人だと思います。敏子は律子に自分から電話を掛けたり、葉書を送ったりした方がいいと思いました。

友達というのは、気軽に話したりするときもあるけど、時々ケンカをしたりしてしまうこともあります。友達とは色々なことがあるかもしれないけど、今、仲良しな人とはこれからも仲良しでいたいと思っています。